

つながる ひろがる おりなす  
アートには地域の未来を変える力があります

## AMO2023 開催報告

ARTS MEET OKITAMA 2023 も今年もたくさんの創意溢れる作品と出会うことができました。ご出品いただいた皆様、本当にありがとうございました。

出品数 76 点 (大賞エントリー 50 点、若手アーティスト奨励賞 14 点)  
来場者 1,552 人 来場者の投票総数 690 票

### ○大賞

「みず」のかたち～白布大滝 三部作～ 井上 富士子 91 票

### ○若手アーティスト奨励賞

「飲みたい！」 桐生 一花 150 票

「ひかるとき」 八頭こほり 110 票

「マトニティ」 tomoko 63 票

\*若手アーティスト奨励賞受賞の3作品は、今年秋の「ミナミハラアートウォーク 2023」に出展されます。



### ◇置賜文化フォーラムプレゼンツ 関連事業

昨年の若手アーティスト奨励賞受賞の青木さんにワークショップしていただきました。

「彫刻体験！

自分だけのオリジナルコースターを作ってみよう」

講師：青木良太 参加人数8名

## AMO2023

AMO2023



佐藤玲子 大賞展



公募展



公募展

# ARTS MEET OKITAMA

## だより夏号 VOL.4

20230628

よねざわ市民ギャラリーと「ARTS MEET OKITAMA」  
の情報をお届けします。

## AMO2023 大賞展へ向けて



子供の頃から描くことが好きで、中学生の時に美術の授業で取り組んだ中体連(米沢開催)のシンボルマークデザインが採

用されたことがきっかけで美術(アート)が更に好きになり、ずっと制作を続けていたという井上富士子さん。結婚出産を機に一旦制作から離れますが、子育てが落ち着いた10年前から油彩を描いています。大賞展へ向けて、井上さんよりコメントをいただきました。

約10年近く、水を描き続けてきましたので、AMO2023 テーマ「水」で大賞をいただけたことに運命を感じ、また、これ以上ない喜びを感じております。

私は、この地球・自然が大好きです。自然が持つパワー、水の浄化力、いつもそういったものに私たちは救われているのだと、自然を前にする度に感動させられます。絵筆にその想いを込めながら描き続けてきた作品達を、一堂に皆様に見ていただけるのが、私自身とても楽しみであります。一人でも多くの方に、自然の素晴らしさをお伝えできるような、そんな大賞展になるよう、スタッフの方々のお力添えを頂きながら、準備を進めていこうと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

予告

## AMO2024 スケジュール

受付期間 10月16日(月)～令和6年1月15日(月)

出品票メ切 2月12日(月)

AMO2024 3月8日(金)～18日(月)

受賞式 3月20日(水・祝)

## テーマ部門「光」

昨年の「水」に続き、今年は「光」をテーマとした作品を募集します。詳細は、10月上旬にお知らせいたします。

## 襖絵のその後

4月15日～28日に行われた「福王寺一彦 高野山金剛峯寺 襖絵第一回奉納記念 いのりのとき」に展示された襖絵が5月11日に高野山金剛峯寺に奉納されました。

空海の足跡を訪ね、その全ての事象に対する真摯なまなざしと姿勢への感動を、自然の恵である岩絵の具と和紙に託して描かれた独自の群青と緑青の世界は、福王寺氏の集大成の作として永く受け継がれて行くことでしょう。6月15日の空海の御誕生の日、襖絵に1250個目の花が描かれました。

襖絵は、7月9日まで「宗祖弘法大師御誕生1250年記念大法会」高野山金剛峯寺で特別公開されています。



5月11日奉納式にて、今川総務総長に目録を  
進呈する福王寺氏



写真右から、藪邦彦高野山執務公室長、今川泰伸宗務  
総長、添田隆昭和法印御坊、高野山大学学長、福王寺  
一彦氏、長谷部真道座主、管長祝下、近藤本淳総務部長、  
岸本優宏内事長、藤本善光社会人権局長、立葉了禪教学  
部次長（5月11日奉納式にて）

## OPEN GALLERY

ナセBA Yonezawa Citizens Gallery X Uesugi Museum Art Collection

## 木地のちから 栗林一雪の創作こけし

4月29日（土）～7月26日（水）



オープンギャラリーでは、栗林一雪の素朴な詩情あふれるこけしを展示中です。大阪万博に陳列された「夢幻」をはじめとする、素朴さと繊細さを併せ持つ作品から、彫刻のような力強さと存在感を放つ作品まで、木の魅力を豊かにたたえた作品をご覧ください。こけしと共にご覧いただき、手がけた水墨画や、栗林氏の懐かしい写真パネルも展示しています。



## <よねざわ市民ギャラリー夏の自主事業>

### 「植物学者 清水大典 ～冬虫夏草と山をめぐる冒険～」

2023年8月11日（金・祝）～8月31日（木）  
10:00～18:00 最終日は17:00まで



冬虫夏草研究の第一人者である清水大典（1915-1998 埼玉県秩父市生。1956年から米沢在住。）は、ほぼ独学で植物学を修得しました。現在放送中のNHK朝ドラ「らんまん」の主人公のモデルである日本植物分類学の基礎を築いた植物学者 牧野富太郎との出会いは、清水の研究人生に大きな影響を与え、「原色冬虫夏草図鑑」を著す大きな原動力となりました。本展では、この図鑑の原図を中心に、清水の驚くべき仕事の数々を紹介します。



現在、ホームページはより見やすく、分かりやすい画面を目指して更新作業中です。ホーム画面では「開催中の展覧会」「催事日程表」といった主要な項目を更新し、全体的にシンプルで見やすいようにデザインを統一しました。また、昨年開始したAMOのアーカイブを少しずつ更新しています。出展作品の一覧化、作家の個別ページの新規作成、PDFデータだけでなくホームページ上で出品作家の情報を確認することができるようにしています。また、個別ページには、作家略歴やAMOの出品履歴をまとめるとともに、出品した作品をできる限り掲載し、個別ページを充実させています。この機会にぜひ、ホームページもご覧ください。



### 市民ギャラリーについて

当ギャラリーは、市民の皆様の美術作品の発表及び鑑賞、市民文化の交流の場として利用しやすい施設を目指しています。芸術文化活動の拠点として、また、様々な芸術文化に親しめるギャラリーを皆様と共に育てて参ります。

自主事業では、4つのコンセプトを念頭にオープンギャラリーの展示、企画展等を行っています。

- 米沢市上杉博物館と連携した展示
- 米沢市ゆかりの作家の作品展示
- 魅力ある企画展示
- 市民ギャラリーの利用促進や、市民の皆様の芸術文化に寄与する展示



▲ギャラリー HP QR



▲ギャラリー・HP 公式  
Twitter QR

ARTS  
MEET  
OKITAMA  
だより夏号 VOL.4  
20230628